

登録コード	A3592462	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					プレゼンテーションの実践的演習を通して，他への発信能力を高めることができる。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					プレゼンテーションの実践的演習を通して，他への発信能力を高めることができる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					プレゼンテーションの実践的演習を通して，他への発信能力を高めることができる。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					プレゼンテーションの実践的演習を通して，他への発信能力を高めることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。						
(5)授業計画	不定期に15回の授業時間を確保して開講する。 その日程については随時連絡する。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションの課題やゼミでの発言、受講態度等について総合的に評価する。						
(8)事前事後学習の内容	事前事後の学習の課題についても、随時説明する。 時間外学修の内容はプレゼンテーションの内容および表現方法、意見交換についての総合的な課題を自宅または大学で実施するものとする。						
(9)テストやレポートの予定	レポート等を課す。						
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける						
(12)履修上の注意	ノートPCを使用します。 出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						